

世 界 史  
(問 題)  
2019年度

〈H31133412〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
  - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
  - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い
マークを消す時	<input type="radio"/> 良い	<input type="radio"/> 悪い	<input type="radio"/> 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
  - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
  - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
  - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒

万	千	百	十	一
	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 故宮博物院について述べた以下の文章を読み、設問1～9について解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

北京の紫禁城は、現在、故宮博物院という博物館となっており、そこでは中国歴代王朝が蓄積したコレクションをもとにして、膨大な文物が収蔵・展示されている。一説によると、漢の時代にはすでに皇帝が書画や器物を収集していた。王朝交代などによって散逸することもあったと考えられるが、歴代の王朝では、器物や書画などを管理する箇所や制度が設けられるなどして、それらの収集・製作が行われていった。

こうして形成されたコレクションは、清朝の乾隆帝によって大成されたが、辛亥革命によって（あ）が退位し、1924年に紫禁城からも退去すると、翌1925年に、旧清朝皇室のコレクションを保管・展示する機関・施設として、故宮博物院が設置されることになったのである。

しかし、満州事変のなかで日本軍が満州から山海関へ進出すると、南京国民政府は、故宮博物院所蔵の重要文物を北京から上海を経て南京へ移し、さらに、1937年に日本軍が南京に向けて進軍すると、四川の疎開先に分散させた。第二次世界大戦後、これらの所蔵品は再び南京に戻されたものの、国共内戦が激化するにつれて次第に中華民国政府の形勢が不利になると、1948年より、そのうち精選されたものが台湾に運び出されることになった。この台湾に運ばれた所蔵品をもとに、1965年には、台北にも故宮博物院という名称の博物館が創設されることになる。

ところで、北京、台北双方の故宮博物院で所蔵されている文物は、青銅器、陶磁器、絵画、書、公文書など多岐にわたる。たとえば、絵画では、北京の故宮博物院に所蔵される「清明上河図」が著名である。これは、北宋から南宋にかけての宮廷画家であった張択端の作とされ、北宋の都であった（い）内外の賑わいを精緻に描いているとされる。また、台北の故宮博物院に所蔵され、李唐の筆によるとされる「文姫帰漢図」は、後漢の才媛で、匈奴に拉致された蔡琰の人生を描いた歴史物語を主題としたものである。書では、（う）の「蘭亭序」が有名であるが、真跡は唐の太宗が自らの陵墓に副葬させたとされ、所蔵されているものはすべて模写や模刻されたものである。また、双方の故宮博物院には、古代中国で威信財や祭祀具として重要であった玉を用いて製作された器物（玉器）が多数収蔵されている。

設問1 下線部 a の「北京」に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① フビライは、北京の前身となる大都を都とした。
- ② 燕王（のちの永楽帝）は、靖難の役で北京を攻略して帝位についた。
- ③ 李自成の反乱軍に北京が占領され、明朝は滅亡した。
- ④ 義和団事件のとき、日本やロシアなどが共同出兵して北京を占領した。

設問2 下線部 b の「乾隆帝」に関して、正しい文はどれか。

- ① 乾隆帝のとき、イエズス会以外の宣教師によるキリスト教の布教活動が清朝で初めて禁止された。
- ② 乾隆帝は『古今圖書集成』を編纂させ、それは次の皇帝の時代に完成した。
- ③ 乾隆帝のとき、清朝はロシアとネルチンスク条約・キャフタ条約を相次いで結び、北方の国境を定めた。
- ④ 離宮につくられた西洋風建築の設計に携わったカステリオーネは、乾隆帝に仕えた。

設問3 下線部 c の「南京国民政府」に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① 南京国民政府は、上海クーデタをおこした蔣介石によって樹立された。
- ② 南京国民政府は、上海を拠点とする浙江財閥の支援を受け、安定的な政権の確立を目指した。
- ③ 張学良が南京国民政府への支持を表明し、南京国民政府は形式的には全国を統一した。
- ④ 南京国民政府は諸外国との条約改正を進めたが、関税自主権は回復できなかった。

設問4 空欄（あ）に入る人物名はどれか。

- ① 雍正帝
- ② 光緒帝
- ③ 宣統帝
- ④ 同治帝

設問5 下線部dの「北宋から南宋にかけて」の時代に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① 北宋では、科挙の最終審査として殿試が創設された。
- ② 北宋では文治主義のもと皇帝直轄軍が解体され、軍事力は節度使に頼った。
- ③ 靖康の変の後、再興された宋（南宋）は、金に対して臣下の礼をとることになった。
- ④ 宮廷に設置された画院を中心に、院体画と呼ばれる画風が生み出された。

設問6 空欄（い）に入る都市はどれか。

- ① 開封 ② 建康 ③ 洛陽 ④ 臨安

設問7 下線部eの「匈奴」に関して、明白な誤りを含む文はどれか。

- ① 始皇帝は匈奴に敗れたため、戦国時代の各国が築いた長城を修築してその侵入を防いだ。
- ② 匈奴の冒頓単于は漢の高祖を破り、高祖は匈奴に対して和親策をとることになった。
- ③ 漢の武帝は匈奴を討って北方へと退け、西域にまで勢力を広げた。
- ④ 分裂を繰り返した匈奴の一部は華北に移住し、五胡のひとつに数えられた。

設問8 空欄（う）に入る人物名はどれか。

- ① 顔真卿 ② 康有為 ③ 蘇軾 ④ 王羲之

設問9 下線部fの「玉」の産地として漢代から有名であり、タリム盆地南縁に位置したオアシス都市国家はどれか。

- ① カシュガル（疏勒） ② ホータン（于闐） ③ クチャ（亀茲） ④ フェルガナ（大宛）

## II 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

古代ギリシア世界と古代ローマ世界の関係について、見ることにしよう。

リウィウスによれば、紀元前5世紀半ばの（①）制定に際して、ローマの使節がソロンの法律等を学ぶためにアテネに赴いたと伝わる。他方、確実な事実としては、紀元前8世紀にはイタリア半島南部にギリシア人が植民市を建設した。ローマ王政末期には彼らとローマ人の交流が生じ、おそらくこの時期に重装歩兵戦術もローマに伝わった。この戦術を通じて、ローマはイタリア半島を統一し、地中海世界に覇を唱え、世界帝国となっていく。

ローマがイタリア半島統一の過程にあった前4世紀後半、マケドニアのアレクサンドロスがギリシア世界を統一し大帝国を建設した。けれども、アレクサンドロスの死後、その帝国は、さまざまな政治勢力に分裂した。前280年、当時のギリシア世界で有力だったエペイロス王ピュロスが、南部イタリアのギリシア人植民市タレントゥムの要請で、イタリア半島に上陸した。ローマはこれを撤退させ、アレクサンドロス帝国以降のヘレニズム世界にローマの存在を知らしめた。

他方、ローマは、前220年代以降、ギリシア本土で断続的に武力を行使するようになった。そして、前2世紀半ば、アンティゴノス朝マケドニアを滅ぼし、属州マケドニアを設置して、直接統治を始める。アンティゴノス朝が実質的に滅亡した際にローマによってイタリア半島に抑留されたポリビオスは、（⑦）を著して、ローマが世界帝国になった理由を明らかにしようとした。セレウコス朝シリアは、前1世紀半ば、後にカエサルと対立することになる（⑧）によって滅ぼされ、属州シリアが設置された。さらに、プトレマイオス朝エジプトはオクタウィアヌスとの戦闘で敗れ、滅亡し、属州エジプトが設置された。このようにして、ヘレニズム世界はローマ世界に統合され、ローマの直接支配に服するに至った。

設問1 （①）に入る最も適切な語を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 十二表法    イ リキニウス・セクステウス法    ウ ホルテンシウス法    エ ローマ法大全

設問 2 下線部②について、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アテネの執政官で、ギリシア七賢人の一人といわれる。
- イ アテネ市民を財産所有額に応じて4つの等級に分け、等級に応じた参政権を定めた。
- ウ 借財を返済できず奴隷状態に陥った市民を救済するため、借金の帳消しを行った。
- エ 慣習法を成文化し、アテネ最古の成文法を制定した。

設問 3 下線部③について、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 重装歩兵戦術は、国家が歩兵に武器や防具を支給することで、騎兵戦術に代わるものとして導入された。
- イ 歩兵が槍と盾を構え、横並びで隣り合う者たちを防御しつつ、隊列を組んで戦う隊形を、ファランクスと呼ぶ。
- ウ アテネの重装歩兵軍がペルシア戦争に決定的勝利をもたらしたことから、アテネ民主政の最盛期が訪れた。
- エ 重装歩兵として国防に重要な役割を果たすようになったプレブスは、パトリキの公職独占に不満を持ち、身分闘争を起こした。

設問 4 下線部④に関し、ローマのイタリア半島統一について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア ローマは、イタリア半島内の諸都市とそれぞれ内容の異なる個別の同盟を結び、そのような同盟を通じて、各都市を支配した。
- イ ローマは、その支配に服した住民の一部にローマ市民権を付与し、服属した者たちを支配者の側に組み込んで、イタリア半島を支配した。
- ウ イタリア半島の植民市の中には、ローマ市民がローマ市民権を保持して入植するものがあった。
- エ イタリア半島統一の過程で建設されたアッピア街道は、商品の流通を目的として設けられた。

設問 5 下線部⑤について、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アレクサンドロスの父、フィリッポス2世は、カイロネイアの戦いでアテネ・テーベ連合軍を撃破した。
- イ アレクサンドロスの父、フィリッポス2世は、スパルタを除くギリシア諸ポリスの同盟であるコリントス同盟（ヘラス同盟）の盟主となった。
- ウ アレクサンドロスは、イッソスの戦いでダレイオス3世を敗死させ、アケメネス朝を滅ぼした。
- エ アレクサンドロスの死後、その遺領を巡って争ったアレクサンドロスの有力な部下たちを、ディアドコイと呼ぶ。

設問 6 下線部⑥に関し、ヘレニズムの文化について明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア サモス島出身のエピクロスが創始したエピクロス派は、精神的快楽を求めた。
- イ キプロス出身のゼノンが創始したストア派は、禁欲を重視した。
- ウ アリストアルコスは、地動説を唱え、地球と太陽の距離を算出した。
- エ エウクレイデスは平面幾何学を大成し、その著作は『幾何原本』として宋代の中国に紹介された。

設問 7 ( ㉗ ) に入る最も適切な語を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア 『ローマ建国史』
- イ 『歴史』
- ウ 『年代記』
- エ 『対比列伝』

設問 8 ( ㉘ ) に入る最も適切な語を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア クラッスス
- イ マリウス
- ウ ポンペイウス
- エ キケロ

設問 9 下線部⑨について、明白な誤りを含む文章を以下のア～エから一つ選びなさい。

- ア アントニウス、レピドゥスと共に第2回三頭政治をおこなった。
- イ アクティウムの海戦でアントニウス・クレオパトラの連合軍を撃破し、内乱の一世紀と呼ばれる内戦状態を終了させた。
- ウ 市民の中の第一人者を意味するインペラトルと自称し、ローマ帝政を開始した。
- エ 前27年に元老院からアウグストゥスの称号を贈られ、後にはコンスルの権限や護民官の権限も獲得した。

Ⅲ 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。解答はマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

15世紀末のイタリアで起きたイタリア戦争は、主にフランスの **A** 家と神聖ローマ帝国及びスペインのハプスブルク家が、イタリアの覇権をめぐる展開した戦争である。この戦争には、イタリアの都市国家やローマ教皇のほか、西ヨーロッパの主要な国々も参戦したため、ヨーロッパの最初の近代的な国際戦争に発展し、近代ヨーロッパ形成への転換点ともなった。戦争は1494年、フランス王シャルル8世がナポリの王位継承権を主張してイタリアに遠征したことによって始められた。この遠征の過程で、メディチ家はフィレンツェから追放されたが、教皇、神聖ローマ皇帝やイタリア諸都市が同盟を結んで対抗したためフランス軍は撤退を余儀なくされた。しかし、これ以降、主に北イタリアを戦場として何度となく戦闘が繰り返され、最盛期を迎えていたルネサンス期イタリアに大きな影響を与えた。また、ルネサンスの波はアルプスを越えて西ヨーロッパ諸国に及び、それぞれ独自の展開を見せることになった。

この戦争が最も激化したのは、フランス王フランソワ1世と神聖ローマ皇帝カール5世が対抗した時代である。フランソワ1世はみづから軍隊を率いてイタリア遠征を行ったが、この時代にイタリア・ルネサンス文化が本格的にフランスに移植され、また宗教改革の運動も同時期にフランスで始まった。フランソワ1世は、オスマン帝国スルタンのスレイマン1世と同盟を結び、キリスト教とイスラーム教の軍勢であるフランス・オスマンの連合艦隊によって、この戦争を有利に展開しようとした。一方、カール5世はスペイン王（カルロス1世）を兼ねてフランスに脅威を与えていたが、カール5世統治下の神聖ローマ帝国内では、宗教改革の運動が始まった。さらにカール5世はローマ教皇と結んでフランスに対抗しようとしたが、この同盟が崩れると1527年には、ローマを攻めた。これによってローマの古代遺跡などは大きく破壊され、イタリア＝ルネサンスの衰退の一因となった。

1547年にフランソワ1世が死去し、さらに1556年にカール5世が退位したのちも、戦闘はしばらくフランドルなどを戦場にして続行された。しかし、フランスと神聖ローマ帝国の両国が疲弊するなかで、1559年の **B** の講和条約が、フランス王、スペイン王、イギリス王を中心に締結され、戦争は終わった。フランスはイタリアに関する権利を放棄したが、イタリアは分断され、ミラノやナポリはスペイン・ハプスブルク家の支配下におかれた。これ以降もハプスブルク家とフランス王家の抗争は、ヨーロッパの国際関係の重要な対立軸となったが、フランスは国内に宗教戦争が勃発したため混乱期に入った。他方スペイン・ハプスブルク家は最盛期を迎え、新たに台頭してきたイギリス・オランダと覇権を争うことになった。

設問 1 下線部①に関連して、フィレンツェやメディチ家について述べた次の1～4の説明の中から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 マキアヴェリは、メディチ家追放後のフィレンツェで軍事・外交の職務を担当し、のちに『君主論』を著して、近代的な政治理論を展開した。
- 2 フィレンツェでメディチ家の保護を受けたボッティチェリは、『旧約聖書』から着想をえて、「ヴィーナスの誕生」を描いた。
- 3 ミケランジェロは、フィレンツェのシステイナ礼拝堂に「最後の審判」を描いた。
- 4 メディチ家出身の教皇アレクサンデル6世は、ローマのサン＝ピエトロ大聖堂の新築資金を調達するために贖宥状（免罪符）を売り出し、ルターの宗教改革を引き起こした。

設問2 下線部②に関連して、イタリア以外の西ヨーロッパ諸国におけるルネサンスについて述べた次の1～4の説明の中から誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 イギリスでは、チョーサーが『カンタベリ物語』を、トマス＝モアが『ユートピア』を著した。
- 2 ネーデルラントでは、ブリューゲルが農民や民衆の日常生活を描いた。
- 3 フランスでは、ラブレールが『ガルガンチュアとパンタグリユエルの物語』を著した。
- 4 ドイツでは、デューラーが友人である人文学者エラスムスの肖像画を描いた。

設問3 下線部③に関連して、次の事件や出来事の中から、スレイマン1世の治世に関するものとしてあてはまるものを次の1～4から一つ選びなさい。

- 1 ウィーンを包囲し、ヨーロッパ諸国に大きな脅威を与えた。
- 2 レパントの海戦で、スペインなどの連合艦隊に敗れた。
- 3 マムルーク朝を滅ぼし、エジプトを支配した。
- 4 ニコポリスの戦いで、バルカン諸国とフランス・ドイツの連合軍を撃破した。

設問4 下線部④に関連して、神聖ローマ帝国内での宗教改革運動の事件や事象の展開が古いものから時代順に正しく並んでいるものを次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 ドイツ農民戦争 ⇒ シュマルカルデン戦争 ⇒ ヴォルムスの帝国議会へのルターの召喚 ⇒ アウクスブルクの和議
- 2 ドイツ農民戦争 ⇒ ヴォルムスの帝国議会へのルターの召喚 ⇒ アウクスブルクの和議 ⇒ シュマルカルデン戦争
- 3 ヴォルムスの帝国議会へのルターの召喚 ⇒ ドイツ農民戦争 ⇒ シュマルカルデン戦争 ⇒ アウクスブルクの和議
- 4 ヴォルムスの帝国議会へのルターの召喚 ⇒ ドイツ農民戦争 ⇒ アウクスブルクの和議 ⇒ シュマルカルデン戦争

設問5 下線部⑤に関連して、次の事件や出来事の中から、1559年の条約に調印したイギリス王の治世に起こったものを次の1～4から一つ選びなさい。

- 1 一般祈禱書が初めて作られ、イギリス国教会の教義や儀式が整えられた。
- 2 国王至上法（首長法）が初めて発布され、イギリス国教会がローマ＝カトリック教会から離脱した。
- 3 第3回統一法により祈禱や礼拝の統一が図られ、イギリス国教会が確立された。
- 4 カトリックの王であったため、国教徒やピューリタンは弾圧された。

設問6 下線部⑥に関連して、オランダに関して述べた次の1～4の説明の中から誤りを含むものを一つ選びなさい。

- 1 スペイン王フェリペ2世は、支配下のネーデルラントにカトリック政策を推し進めたため、諸州で激しい反乱がおきた。
- 2 ネーデルラント北部7州はユトレヒト同盟を結成し、オラニエ公ウイレムのもとに独立運動を進め、1581年にネーデルラント連邦共和国として独立した。
- 3 オランダの法学者グロティウスは、『海洋自由論』を著し、国際法の発展に寄与した。
- 4 イギリスとオランダは、17世紀半ばにイギリス＝オランダ戦争を戦い、オランダ優勢のうちに戦争は終結した。

設問7 Aに入る最も適切な語を次の1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 ブルボン    2 ヴァロワ    3 プランタジネット    4 カペー

設問 8 B に入る最も適切な地名を次の 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 ユトレヒト    2 ウェストファリア    3 アーヘン    4 カトー＝カンブレジ

IV イギリスによるインド植民地支配に関する以下の文章を読み、設問に答えなさい。解答はマーク解  
答用紙の所定欄にマークしなさい。

1600年に特権的貿易会社として設立されたイギリス東インド会社は、東南アジア進出に失敗したのち、インドに拠点を確保して交易事業を行った。やがてインド産の綿織物がヨーロッパで販路を拡大し、中国産の茶とならんで、主力輸出品として会社の発展を支えるようになる。

一方16世紀に建国されたムガル帝国は、アクバル帝<sup>a</sup>の時代に帝国の基礎を安定させたが、帝国の版図をさらに広げたアウラングゼーブ帝の死後、地方勢力が台頭し、帝国は弱体化した。これに乗じて英仏の東インド会社も地方での支配権を握りはじめ、インドにおける英仏間の争いは、ヨーロッパでの戦争と連動して<sup>b</sup>激しさを増すようになる。

やがてイギリスはフランス勢力を駆逐し、インドの地方勢力との戦争にも勝利して、インド全域へと支配を広げていった。この過程でイギリス東インド会社は領土支配を行う準政府的な組織へと性格を変えていき、最終的には統治のみ<sup>c</sup>を行う組織となった。

イギリス東インド会社統治下のインドでは、イギリスでの産業革命の影響により綿織物産業が衰退し、輸出用の綿花や藍などの大規模農園<sup>d</sup>が建設されるようになるなど、大きな社会的変動が生じた。これによりイギリスに対する不満がインド人のあいだで蓄積していき、1857年のシパーヒーの反乱は社会全体を巻き込む大反乱へと発展した。これを鎮圧したイギリスは東インド会社を解散して直接統治に切り替え、1877年にはヴィクトリア女王<sup>e</sup>が皇帝に即位してインド帝国が成立する。

インドは鉄道建設<sup>f</sup>などにより重い財政負担を抱えたが、国内でも綿工業を中心にインド人による民族資本が成長してくると経済は次第に好転した。こうしたなかで次第に民族的な自覚をもつ階層が生まれ、1885年には初のインド国民会議が開催される。やがて政党化した国民会議派は、ベンガル分割令への反発から激しさを増した民族運動<sup>g</sup>において中心的な役割を果たした。この反英的な民族運動はイギリスの懐柔策やムスリムの離反などによりいったん沈静化<sup>g</sup>したが、第一次世界大戦後にはガンディーやネルーの指導のもとでふたたび活性化<sup>h</sup>する。しかし、最終的にインドの独立が達成されたのは第二次世界大戦ののちであった。

設問 1 下線部 a のアクバル帝について述べた文章のうち、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ 官僚に序列をつけ、位階に応じて給与などを決めるマンサブダル制を定めた。
- ロ 首都をアグラからデリーへ移し、インド＝イスラーム建築を多数建立した。
- ハ ヒンドゥー教に対して寛容策をとったが、イスラーム教とヒンドゥー教を融合させる動きは厳しく禁じた。
- ニ シパーヒーに封土を配分してその土地の徴税権を与えるティマール制を定めた。

設問 2 下線部 b に関連して、ヨーロッパ内外で英仏が参加した戦争について述べた文章のうち、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ ファルツ戦争（アウクスブルク同盟戦争）は、ルイ15世がファルツ選帝侯の領土継承権を主張して起こった。
- ロ スペイン継承戦争の結果むすばれた条約で、フランスはイギリスからニューファンドランドなど北米の植民地を複数獲得した。
- ハ オーストリア継承戦争ではイギリスと同盟をむすんだプロイセンが勝利し、シュレジエンを領有した。
- ニ 七年戦争と連動したフレンチ＝インディアン戦争では、勝利を収めたイギリスがカナダとミシシッピ川以東の地を獲得した。

設問3 下線部 c に関連して、イギリス東インド会社の植民地統治について述べた文章のうち、明白な誤りを含むものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ イギリス東インド会社は、1765年ムガル皇帝からベンガルやビハール地方でのディーワーニー（徴税権）を得た。
- ロ ザミンダーリー制は、イギリス人入植者に土地所有権を与え、定額の地税納入の義務を負わせた制度である。
- ハ ライヤットワリー制は、農民に土地所有権を認め、直接地税を徴収する制度である。
- ニ 1833年、イギリス東インド会社の中国貿易・茶貿易についての独占権廃止が決定された。

設問4 下線部 d に関連して、世界各地の大規模農園について述べた次の文章のうち、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ オランダ東インド会社は、強制裁培制度によりジャワ島でコーヒーやサトウキビなどを栽培させた。
- ロ 北アメリカ南部のプランテーションでは、17世紀には綿花が、18世紀に入ってからサトウキビとタバコが中心的な作物であった。
- ハ 20世紀に盛んになったマレー半島のゴムのプランテーションでは、南インドからの多数の移民が労働に従事した。
- ニ ケニアの大農園で働くインド人の権利保護活動をするなかで、青年期のガンディーは非暴力・不服従の理念をつくりあげた。

設問5 下線部 e に関連して、19世紀にイギリスでなされた社会改革のうち、ヴィクトリアのイギリス女王即位後に行われたものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ 審査法廃止
- ロ 奴隷貿易禁止法施行
- ハ 団結禁止法廃止
- ニ 穀物法廃止

設問6 下線部 f に関連して、世界各地での鉄道建設について述べた次の文章のうち、明白な誤りを含むものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ アメリカの大陸横断鉄道の建設では、アイルランド系移民や中国系のクーリーが主要な労働力となった。
- ロ ドイツはオスマン帝国からバグダード鉄道の敷設権を得て、中東進出の足がかりとした。
- ハ ロシアは日清戦争後、東清鉄道を建設してシベリア鉄道に接続させた。
- ニ 日本は清から国有鉄道の譲渡を受けて南満州鉄道を建設し、関東州経営の支柱とした。

設問7 下線部 g に関連して、アジアでの民族運動について述べた文章のうち、正しいものはどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ インドネシアでは、ヒンドゥー教徒による大衆民族組織がオランダからの独立運動を主導した。
- ロ オスマン帝国では、「青年トルコ人」の運動によってミドハト憲法が復活し、その後スルタンは退位した。
- ハ ベトナムでは、日本で組織されたベトナム光復会が中心となってフランスからの独立運動を行った。
- ニ イランでは、タバコ=ボイコット運動に端を発する立憲革命により、カージャール朝が倒された。

設問8 下線部 h に関連して、第一次世界大戦後のインドでの民族運動に関する次の出来事を古いものから順に並べたとき、二番目にくる出来事はどれか。次の中から一つ選びなさい。

- イ 新インド統治法の制定
- ロ ローラット法の制定
- ハ アムリットサルでの虐殺事件
- ニ 塩の行進



V 10世紀から12世紀にかけての中世ドイツにおける「聖」(教皇権)と「俗」(世俗権力)の関係の歴史の変遷を以下の用語をすべて用いて、250字以上300字以内で説明しなさい。なお、句読点、数字は1字に数え、指定の語句には必ず下線を付しなさい。

オットー1世

グレゴリウス7世

カノッサの屈辱

ヴォルムス協約

[以下余白]





